



桜の木を救え!
 ～植樹して55年～ 御楯会 (山中57回)

植樹版をつけて記念撮影(会報49号)

山形東高 同窓会 会報

第76号
 令和6年4月20日

〔発行所〕 〒990-8525 山形市緑町1-5-87
 山形東高同窓会事務局
 TEL・FAX (023) 631-7501
 〔URL〕 <https://www.yamatoudousoukai.com>
 〔E-mail〕 info@yamatoudousoukai.com
 〔発行人〕 今野 義之
 〔印刷所〕 坂部印刷機 TEL (023) 631-2056

昭和16年植樹

御楯の桜の下で

母校の通用門そばに立つ桜の木、そこに取り付けられた色あせた植樹板。「ソメイヨシノ 御楯会 昭和16年4月」と刻まれてあったという。昭和14年に入学した御楯会(みたてかい)が3年生に進級した春、教師に命じられて4人の生徒が講堂裏の畑から2m程の苗木を2本抜き取ってきて、溜池のわきに植樹したものだ。溜池はもう跡形もないが、当時はまだ千歳園(注1)の堀跡が名残りをとどめていたのだろう。

この年、日本は泥沼化する日中戦争から真珠湾攻撃へと一気に軍事行動を拡大し、太平洋戦争に突入。戦時体制は学校生活にも深い影を落としていく。その頃の忘れがたい教室の光景を、渡部忠雄氏(御楯会)が克明に書き残している。

「陸軍少年航空練習生に応募する者はいないか」と担任が言った。一瞬、クラスはしーんとなった。そして大部分の者はそつとうつむいた。担任と視線が合ったらはなはだまずいことになる。陸軍航空隊=戦闘機乗=空中戦=高い戦死率。消耗品!陸士や海兵(注2)のいわばエリートコースとはまるでちがうのだ。これまでも、あの中央廊下に募集ポスターが貼られることはあったが、天下の山中から陸軍少年航空練習生に応募したことはなかったし、教師が直接生徒のよびかけるようなことも考えられないことだった。軍からの割り当てがついに山中にもやってきたのだ。

……重い沈黙の後、担任は再び口を開いた。

「志願者はいないか。このクラスからただ一人でもいいのだ。」

そして再び重苦しい沈黙。時間が鉛のようにびっしりつまり、停止して動かない。担任が教壇を降り、ゆっくり列の間を歩んだ。ぼくの位置から二列ばかり廊下りだ。「助かった!」とぼくは思い、泥棒猫のような視線を担任の移動する方向に向けた。ぼくの真横、教室の中央に来て彼は立ち止まり、乾いた声で**に問いかけた。

「**、お前志願しないか。」

陸上競技の選手で、ずばぬけて立派な体と温良な性質をもち、成績では陸士は無理と級友たちもほぼ一致して考えていたにちがいない**が担任の指名をうけたのだ。泣き出したのをじっとこらえて真赤になったほおに、うぶ毛が一面生えていたのが、いかにも健康そうでまだ幼い感じだったあの時の彼の横顔を、三十年以上たった今も(注3)、ぼくは鮮かに思い起こす。いつの間にか**は消えるようにみんなの前から去っていった。

……彼が航空兵に指名されたのは昭和十五年から十八年、われわれが山中二年から五年の期間にちがいないが、そのいつの時点であったか、また担任が誰であったかも、どうしても確定できない。が、そんなことはちっとも重要でない。あの時、あの状況におかれたなら、教師の九九・九パーセントまでが同じことをやるだろうことがほぼ確実だからだ。十代後半のわれわれが級友の一人をスケープゴートに捧げたという厳然たる事実だけは消えずに残る。そしてそのことだけがぼくにとって意味がある。戦後のぼくの生きざまを深い所で方向づけ、規定している最も大きな体験のひとつである事実は動かせないから。

(昭和59年発行『山形東高等学校百年史』より)

『百年史』編集者の補足が続く。「彼」が母校を去った時期を確かめるべく調査したところ、「昭和17年3月、志願先は海軍予科飛行練習生いわゆる予科練であった」と。植樹からちょうど1年、ようやく固い蕾をつけ始めていたであろう若木が、「彼」に重なる。

翌18年秋、山中からの予科練合格者は14名。出発の朝、各校から集まった「同期の桜」達は市長の激励を受け「山形駅まで沿道埋めた市民と市内中等学校全生徒の歓呼の中を私達は胸をはって、いささか興奮気味に行進した。プラットホームを埋め尽くした山中、二中(注4)、山商、山工の生徒職員そして家族友人……校歌が応援歌が声をかぎりに津波のようになりかえされた。発車を告げるベルの音も聞きとれぬ歓呼の嵐の中で、だれかれの区別のない握手を繰り返していた」と、4年生で志願した鈴木祐介氏(万葉会)は、鮮烈なその日を語る。

御楯会の命名は『万葉集』の防人歌「今日よりは顧みなくて大君の醜(しこ)の御楯と出で立つ我は」により、「わが身を顧みずお国のために殉ずる心意気」を込めたという。歓呼の嵐は、忠君愛国に燃える若者達と、晴れの門出を祝う人々との、交錯する思いの絶叫だった。

——ひとり「彼」は違った。詳しい事情は知るよしもないが、「消えるように」去ることこそ、「彼」の心に添った別れ方だったのかもしれない。今日からは故郷も家族も学業も捨て、わが命さえも顧みず、級友の楯となり、天皇の楯となることを背負わされた、悲壮な旅立ち。

「出で立つ我は」に続くのは、言葉にすることを許されない叫び。——しかし、その声はたしかに届いた。仲間達の心深くで蹴となり「戦後の生きざまを深い所で方向づけ、時に行く手を正す灯となり、時にかげがえのないものを守る楯となる勇気を奮い立たせてくれたに違いない。

平成8年、樹勢の衰えかけた桜の大樹の元に、御楯会の有志が集まった。樹木医の指示で、剪定、空洞化した幹の洗浄、防腐剤を施し、植樹板を取り付けた。「この桜は自分達で世話するから」と申し入れた通り、それから丹念に世話を続け「御楯の桜」は見事に復活した。

今年で83年。幹は裂け枝は折れてなお老木は、南海に散った若桜の残像をうつつつ渾身の力をふりしぼって咲く。根元に芽吹くひこばえに支えられるようにして。痛々しくもたくましい命の更新——。生徒達もやってきてスマホを向けている。色あせた植樹板など画角に入っているはずもないが、そこからよみがえる戦時の青春を、今こそ語り継がずにはいられない。この「ひこばえ達」に。 渡辺 季子(志也會)

(注1) 明治期の勸業試験場を兼ねた公園、現在の校地はその中心部にあたる。(注2) 陸軍士官学校や海軍兵学校。(注3) 昭和40年代後半。(注4) 現在の山形南高



ご挨拶

同窓会会長 高橋 一夫

(山東21回・四六会)

2019年4月から、母校、山形東高等学校の同窓会長を引き継ぎ、皆様のご協力を得まして、6年目となる、高橋一夫です。一言、ご挨拶を申し上げます。

今年の主たる行事は何といっても、創立140周年の同窓会記念事業です。その内容は、正門の校門柱を今後数百年維持できるように復元修復すること、加えて正門周辺の環境整備です。

その工事の財源確保のために、税法の恩典を享受できる寄附を募ってまいりましたが、昨年9月末に寄附期間の終了を迎え、結果、何とか財源を得、工事を実施できることとなりました。

募金の趣意書にも記載しましたが、母校の顔とも言うべき「正門」が、建設以来130年の年月を経て、風化や劣化が著しい状況にあります。特に、門柱の頭や脚の一部欠損が目立ちます。

そこで、母校の強い希望もあり、役員会および評議員会でこれを創立記念事業とした次第です。

今年の9月下旬から10月中旬には、竣工・除幕式の運びとなります。お時間の有無にかかわらず、ぜひ母校に立ち寄っていただき、一新した正門の姿をご覧いただきたく存じます。さて、コロナ騒ぎで控えておりました、地域・職域同窓会につきましては、大体コロナ禍前の状況に戻りました。

各地域職域同窓会の状況ですが、椿山荘での東京、それから山形県庁、山形市役所、文化部OB会、関西山中・山東(大阪)、東根、酒田、尾花沢、東海(名古屋)、仙台、山辺、河北、体育OB会、山形県庁2回目、大石田となります。いずれの会も大変活発で、圧倒されるばかりでした。喜ばしいことです。

また、学校長から承りますと、皆さんの後輩である在校生たちの教育も順調に進んでいる様子で、昨年の創立139周年記念式典に出席させていただきました際、大変印象深い情景がありました。

私にとっては畑違いのためか、難解な記念講演のテーマでしたが、なんと、学生から講師の東大教授に対し、多くの質問があり、さらに生徒会長が的を射たお礼の言葉を述べておりました。「さすがだな。」と、おおいに感心いたしました。

最後ですが、皆さんから山東同窓会に愛着を持っていただけますよう、役員ともどもがんばりますので、今後とも、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



就任のごあいさつ

第46代校長 渡邊 晃

(山東35回・百東会)

山形東高等学校の校長を拝命いたしました渡邊と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は母校が創立100周年を迎えた昭和59年度に卒業し、教員として2校目の赴任校として平成7年～平成18年の11年間教諭として山形東高校に勤務いたしました。このたび、19年ぶりに「教員としての在り方や心構え」を教えていただきました母校に、そして創立140周年を迎えるという節目の年に、校長として勤務できることをこの上ない喜びとして感じているところです。校長在任中は、同窓生の皆様の母校に対する熱い思いを受け止め、生徒の皆さんの目標を達成するためにも誠心誠意尽力していく所存であります。

同窓会の皆様におかれましては、日頃から物心両面にわたり多大なご支援をいただいていることに心から感謝申し上げます。母校の状況につきましてはこれまで同様、学校のホームページ等を通じて皆様に発信してまいります。ぜひご覧いただきまして、これまで以上のご支援とご協力をお願いいたします。併せまして生徒・教職員に励ましのお声をおかけいただければ幸いに存じます。

最後になりますが、山東同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。校長就任のごあいさつといたします。



退任のあいさつ

第45代校長 須貝 英彦

(山東32回・榎工会)

期せずして母校校長という栄誉にあずかり、何とか4年間の職責を全うすることができました。これも一重に同窓会の皆様のご理解と温かいご支援のお陰であり、心より感謝申し上げます。コロナ禍の影響により、同窓会の集まりも中止が相次いでおりましたが、昨年度にはほぼ復活し、多くの同窓生の皆様と直接お話しする機会が得られ、とても楽しく充実した1年となりました。また、探究活動とICTの導入という改革に携われたことも私にとって大きな財産となりました。今後は一同窓生として母校を応援してまいりたいと存じます。本当に有り難うございました。

令和5年度事業報告

140周年記念事業の推進
地域・職域同窓会再開 絆より深く

令和5年

- 4月6日 事務局会議
事務局構成・業務分担
- 4月8日 令和5年度入学式(学校)
- 4月20日 同窓会報第75号発行・会計監査
- 5月12日 第1回役員会
令和4年度事業報告・決算

監査報告

- 令和5年度事業計画・予算
- 6月30日 臨時役員会
140周年記念事業募金推進
- 7月6日 全国大会出場選手激励会
- 7月10日 山形県庁東高会総会(1)
- 7月17日 山中山東東京同窓会懇親会
- 7月21日 文化部OB会総会
- 8月23日 第2回役員会
総会・表彰式・まつり
- 8月25日～27日 山東祭(学校)

- 8月27日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー勢翔会
- 9月1日 第1回評議員会・第2回常任委員会
第1回・臨時・第2回役員会と同じ内容
- 9月20日 山形市役所東高会総会
- 9月30日 140周年記念事業募金活動終了
- 10月14日 同窓会総会・表彰式・まつり
- 10月27日 創立139周年記念式典(学校)
- 10月28日 関西山中山東同窓会総会
- 11月8日 東根支部総会
- 11月10日 酒田山東会総会
- 11月11日 尾花沢支部総会

令和5年度 予算執行状況

(令和5年4月1日～令和6年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,500,000	△240,000	6,260,000	6,230,393	ゆうちょ銀行682件(含持込)、コンビニ129件
入会金	1,180,000	0	1,180,000	1,180,000	5,000円×236人
積立金より	0	500,000	500,000	500,000	会計間一時借り入れ
繰越金	1,156,164	0	1,156,164	1,156,164	
雑収入	100	20,026	20,126	20,126	利子、寄附金、ご芳志
合計	8,836,264	280,026	9,116,290	9,086,683	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	350,000	△104,111	245,889	245,889	資料印刷、案内送付費、まつり補填費
会議費	1,000,000	0	1,000,000	544,800	役員会、評議員会、140周年事業会議
表彰費	260,000	32,578	292,578	292,578	表彰状、喜寿記念品6000円×38人等
会報発行費	3,100,000	5,000	3,105,000	2,100,632	16,700部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	0	140,000	98,499	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	0	140,000	68,662	慶弔電報、香典、饌別
諸手当	30,000	0	30,000	30,000	史料整備作業費
生徒活動支援費	300,000	△135,000	165,000	165,000	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	△2,610	27,390	27,390	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	450,000	4,069	454,069	454,069	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	△10,000	20,000	7,520	卒業写真保存費
事務費	1,350,000	0	1,350,000	1,174,941	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	山東高教育後援会へ
積立金	0	500,000	500,000	500,000	会計間一時借り入れ返済
振込料金	420,000	△34,000	386,000	383,879	ゆうちょ、コンビニ、スマホ、振替通知書
予備費	136,264	24,100	160,364	0	
合計	8,836,264	280,026	9,116,290	7,193,859	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

令和6年度 予算(案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差額(A-B)	摘要
維持会費	6,500,000	6,500,000	0	
入会金	1,155,000	1,180,000	△25,000	5,000円×231人
積立金より	600,000	0	600,000	創立140周年記念事業運営のため
繰越金	160,000	1,156,164	△996,164	
雑収入	100	100	0	利子
合計	8,415,100	8,836,264	△421,164	

支出の部

(単位：円)

科目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差額(A-B)	摘要
総会費	250,000	350,000	△100,000	資料印刷、案内送付費、まつり補填費
会議費	1,000,000	1,000,000	0	役員会、評議員会、140周年事業会議
表彰費	300,000	260,000	40,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,100,000	3,100,000	0	16,700部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	140,000	0	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	140,000	0	慶弔電報、香典、饌別
諸手当	30,000	30,000	0	事務補助費
生徒活動支援費	200,000	300,000	△100,000	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	450,000	450,000	0	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	30,000	0	史料保存費等
事務費	1,100,000	1,350,000	△250,000	事務局運営費、一般事務費、PC更新
寄付金	1,100,000	1,100,000	0	山東高教育後援会へ
積立金	0	0	0	
振込料金	400,000	420,000	△20,000	ゆうちょ、コンビニ、スマホ、振替通知書
予備費	145,100	136,264	8,836	
合計	8,415,100	8,836,264	△421,164	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—維持会費納入は、ゆうちょのATMで 1月より加算金廃止—

維持会費にご協力いただきましてありがとうございます。令和5年よりスマホアプリ決済が加わり、納入がより便利になりました。詳しくは「維持会費納入状況報告」をご覧ください。振込料金(同窓会が負担)を抑え実収入を確保する取組みにもどうぞご協力下さい。

- 振込料金の安いゆうちょATMでの振込にご協力を。郵便局の窓口(203円)・ATM(152円)・コンビニ(198円)・スマホ(198円)
- 郵便局での現金での振込みは、令和6年1月22日より払込人負担の加算金(110円)が廃止されました。
- ご家族など複数名で振込まれる場合、「郵便局」振込用紙の「通信欄」にそれぞれの氏名・卒業年・金額を列記し、合計金額を一括してお振込み下さい。
- 銀行のネット取引サービス(無料)や、ゆうちょ銀行の電信振替のご利用もどうぞご検討下さい。氏名、卒業年もお忘れなく。

11月18日 山中山東東海同窓会総会
 11月28日 仙合同窓会総会
 12月2日 山辺支部総会
 12月17日 栃木支部総会
 12月22日 松田杯等四賞授与(学校)

令和6年

1月20日 河北山東会総会
 1月26日 140周年記念式典準備会(学校)
 2月1日 第3回役員会
 評議員会・常任委員会に向けて
 2月2日 体育部OB会総会

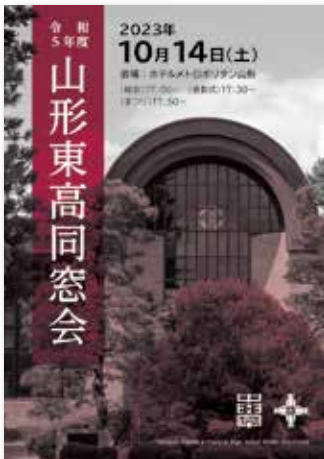
2月9日 山東教育後援会へ寄附金贈呈
 第2回評議員会
 令和5年度年度補正予算
 令和6年度事業計画・予算
 令和5年度まつり総括・決算



会長から校長へ寄附金の贈呈

令和6年度まつり計画
 第3回常任委員会
 140周年記念事業経過・計画
 2月20日 山形県庁東高会総会(2)
 2月24日 大石田支部総会
 2月29日 同窓会入会式
 令和6年卒山東74回
 継翔会(けいしょうかい)
 評議員 橋 律貴
 3月1日 令和5年度卒業式(学校)
 同窓会特別賞授与
 3月22日 まつり引継会

令和5年度 同窓会総会・表彰式・まつり



令和5年度同窓会総会・表彰式・まつりが、10月14日(土)午後5時から、山形駅に隣接するホテルメトロポリタン山形を会場に開催されました。新型コロナが5類感染症に移行したことを受けて、今年度は来賓者46名、喜寿者38名はじめ計223名の出席で、コロナ以前の3分の1の規模に戻して開催することができました。

総会では、令和5・6年度役員任命、事業計画と予算、創立140周年記念事業の経過報告など全議案が承認されました。高橋一夫会長からは「創立140周年記念事業での正門の門柱をリニューアルする計画、募金活動へのお礼」、須貝英彦校長からは「生徒はフェンシングや剣道、将棋、俳句で全国上位の成績を上げ、文武両道に邁進していること。」など、山形東高の近況について報告していただきました。

表彰式では、同窓会功労者の浜田敏氏に表彰状が、また、2名の永年勤続職員に感謝状が贈呈されました。さらに喜寿者(竹馬会)の38名に記念品が贈呈され、代表して遠藤直幸先輩から、恩師松木先生との心温まるエピソードを交えた御礼の言葉をいただきました。その後、双鬘会の布施昇男実行委員長がまつりの開会を高らかに宣言

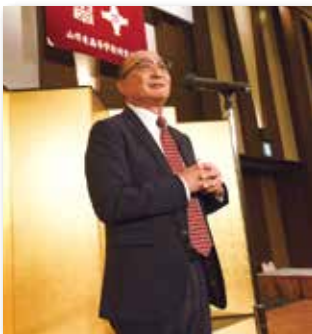
いよいよ同窓会まつりがスタートしました。

まずは、母校応援団による校歌斉唱とエール。応援団・チアリーダーの熱気溢れるパフォーマンスに、終始、圧倒させられっ放しでした。続いてのアトラクションは、3年生の吉田奏子さん(ヴァイオリン)と船津佑真君(ピアノ)による演奏。「シューベルト作曲: ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ 二長調 Op.137-1: D.384第1楽章」など3曲が披露され、会場を上品で上質な空間に仕上げてくださいました。そして、顧問の佐藤俊一前校長(天馬会)による乾杯の御発声で、待望の宴が始まりました。参加した皆さんは、美味しい料理に舌鼓を打ち、美酒「お・勝利」などを堪能しながら、世代を超えて語り合い、大変な盛り上がりとなっていました。最後に、次回幹事の百東会及び和成会の代表者が、来年に向けた意気込みを宣誓。会場全体で「お・勝利」を大合唱し、鈴木達東京同窓会長の万歳三唱で名残を惜しみながら、閉会となりました。

今年の当番幹事は、双鬘会と瑞雪会が務めました。準備を前に学年評議員が、学年の仲間に対し檄。まつりへの参加と協力を要請しました。当日は、学年の仲間が、全国各地から「いざ鎌倉」張りに馳せ参じ、代表の指示に緊張感を持ちながらも楽しく、和気あいあいと業務にあたりました。至らないところも多々ありましたが、めでたい御席に免じ御容赦をいただければ幸いです。

結びに、同窓会まつりの開催に、御協力・御支援・御協賛をいただいた関係者や事務局の皆さん、助言をくださった昨年の当番幹事及び評議員の方々に、深謝申し上げます。皆さん、次回も元気で会いましょう!

(双鬘会 森谷健 記)



令和5年度 同窓会功労者表彰

《同窓会長功労》 ^{はま} ^だ ^{びん} 浜田敏様 (山東17回・六七会)

【表彰理由】 昭和61年より34年間に亘り同窓会長等を歴任され、明朗闊達なお人柄で世代を越えた会員の絆を深めつつ、東日本大震災をテーマに生徒参加型の文化的記念事業を成功に導かれる等、進取に富む広い視野で活動を牽引されました。

山東奨学会、松田杯等審議委員会、探究賞の新設においても、文武両道の人材育成に力を注がれ、同窓会と母校の発展に寄与されたご功績は誠に顕著であります。

長年にわたる同窓会活動へのご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を込めて表彰状と記念品が贈られました。



令和6年度

同窓会総会・表彰式・まつり

令和6年10月19日(土)

ホテルメトロポリタン山形

- ◆ 日 程：総 会／午後5時00分～
表彰式／午後5時30分～
まつり／午後5時50分～
- ◆ 出 席 者：来賓、受賞者、喜寿者(六七会)
役員、学年から4名程度 計400名程度
- ◆ 会 費：7,000円、チケット販売なし
- ◆ 当番幹事：百東会(山東35回)・和成会(山東57回)

【開催にあたって】 ポストコロナの時代に入り「楽しく安全に」をコンセプトとして、ゆとりある座席配置に適した規模で、料理も個別に配膳いたします。お申込みは、各学年の評議員(15頁)まで。



“コロナ禍で迎えた喜寿” 山東16回・竹馬会

卒業したのは昭和41年(1966)で、何と言っても筆頭するべきは、この年あの伝説ともなっているビートルズが日本にやって来たことです。6月29日、東京・羽田空港に到着したジョン・レノン、ポール・マッカートニー、ジョージ・ハリスン、リンゴ・スターの4人はタラップに法被姿で現れ、出迎えるファンの大喝采を浴びました。日本公演は3日間、東京の武道館で開催されました。確か計5ステージだったと思います。

複雑な気持ちでビートルズのテレビ映像を見ていました。つまり、この年は大学入学に念願叶った人、残念だった人、そして社会に巣立った人と、それぞれ道が分かれた年でもあります。当方は残念組で、昼は自宅で農業を手伝いながら夜に勉強し、もう一度挑戦しようとしておりました。それが、小規模農家の親との約束でした。テレビを見る時間も惜しんで、勉強しなければなりません。予備校にも行かず、自学学習。不安の塊です。そんな時、当時の佐々木俊光校長から「たまに学校に来たらいい」と言われ、おそろおそろ校長室に伺いました。何を話したかは覚えていませんが、気が楽になって、救われたような、未来が信じられるような明るい気持ちになって帰途についたことだけはしっかり覚えています。

在学中のクラブ活動は書道部でした。グラウンドに面した入り口にあり、放課後、部室に集まるが多かったように思います。狭い一室で、後輩のS君はよく高そうな革靴を磨いていました。なぜ書道部に入ったかという、10人前後の部員の多くが同郷の東根出身者で、部長も東根市内の先輩でした。同じ列車で登下校した毎日でした。部室の靴棚には、ロジェ・マルタン・デュ・ガールの「チボウ家の人々」やロマン・ロランの「ジャン・クリストフ」、ヘルマン・ヘッセの「車輪の下」などが無造作に置いてありました。

竹馬会の名前の由来は知りませんが、多分、竹馬の友からきているのではないかと容易に想像がつかます。一学年7クラスで、生徒数は371人。優秀な学年で東京大学とか他大学の医学部とか難関大学、学部の入学者が多数いて、近年まで記録は破られなかった、と聞いております。知っている限りでは、文芸評論家の故加藤典洋さん、元聖路加病院の副院長で著名な俳人でもある細谷亮太さん、このお二人は山形新聞に定期的にそれぞれの分野での記事が載っていました。細谷さんは現在も同紙の俳句の選者をしております。加藤さんは先年、鬼籍に入られました。その他、無念にも喜寿を迎えることができなかった竹馬の友に、謹んで哀悼の意を表します。



表彰式に集いし竹馬会、みんないい笑顔

(寒河江 浩二 記)

母

校

文武両道

近

況

おもな大学の合格状況

継翔会 (令和6年3月卒業)

大学入学共通テスト実施4年目。来年度から新たに教科「情報」が追加されるなど、入試制度が変化する前年度にあたる。本校における自己採点の結果(900点満点平均値)は、文理総合653点(文系640点、理系662点)であり、昨年度(得点調整後データ)から約10点アップした。これは全国動向(業者推計)と同様であり、入試制度変更前年度に見られがちなる出願段階における「弱気ムード」は、本校ではほぼ感じられなかった。

さて、本校の現役生の合格概況を表に示す。東京大学は現役6名。そのうちの1名は学校推薦型選抜による文学部合格の生徒であるが、本校としては4年連続で推薦合格者が出ていることになる。一方、過年度卒の東京大学合格者は4名(うち1名は理科三類)となり、現役生と合わせて10名と、2年ぶりの2桁合格となった。

東北大学については、今年度もAOⅡの総合型選抜から一般入試までチャレンジし続けた現役生が多かった。現役生41名(AOⅡ:5名、AOⅢ:9名、前期:26名、後期:1名)、過年度卒7名(AOⅢ:2名、前期:5名)の合格者数は昨年度(現役生49名、過年度卒11名)にはやや及ばなかったものの、こちらも健闘したといえる。その他難関国立大学では東京工業に現役生2名、京都大学に過年度卒1名が合格している。地元山形大学への現役生合格者は後期6名を含む28名(昨年度29名)となっている。

医学部医学科の現役生の延べ合格者については、東北大学2名(AOⅡ:1名、AOⅢ:1名)、山形大学9名(推薦:3名、前期:5名、後期:1名)、東北医科薬科大学7名、自治医科大学4名、弘前・秋田・岩手医科・埼玉医科の各大学で1名ずつ、計26名となった。過年度卒の合格者については、山形大学2名、東京大学1名、東北医科薬科大学等の私立大を合わせて延べ9名を数える。

総じてみれば今年度も「山東大健闘」と言っていじらる。今後もこの勢いにご注目いただきたい。

令和6年3月卒業生(継翔会) 大学合格者数(延人数)

単位:人 ※現役合格のみ(令和6年3月31日時点)

【国立大学】

大 学	人 数	
北 海 道	1	
室 蘭 工 業	1	
弘 前	1	
岩 手	2	
東 北	文 教	7
	法 経	2
	理 工	8
	農 全	6
	医 保	3
	工 農	2
	全	10
	秋 田	1
	全	1
	全	41

大 学	人 数	
山 形	医 全	9
	全	28
福 島	3	
茨 城	1	
筑 波	1	
宇 都 宮	1	
埼 玉	3	
千 葉	5	
東 京	文 理	5
	計	1
電 気 通 信	1	
東 京 海 洋	1	
東 京 学 芸	4	
東 京 芸 術	1	
東 京 工 業	2	

大 学	人 数
東 京 農 工	2
横 浜 国 立	3
新 潟	19
富 山	2
山 梨	1
信 州	1
静 岡	2
奈 良 女 子	1
琉 球	1

【公立大学】

大 学	人 数
岩 手 県 立	1
宮 城	2
秋 田 県 立	1
東 京 都 立	2
都 留 文 科	1
兵 庫 県 立	1

【私立大学】

大 学	人 数
東 北 学 院	8
東 北 福 祉	12
東 北 医 科 薬 科	10
青 山 学 院	5
自 治 医 科	4
慶 應 義 塾	2
上 智	10
中 央	9
東 京 理 科	5
法 政	8
明 治	11
立 教	7
早 稲 田	13
立 命 館	5
そ の 他	83

【計】

大 学	人 数
国 立 大 学	136
公 立 大 学	8
国 公 立 大 学	144
私 立 大 学	192
大 学 計	336
(国公立医学科)	13
(私立医学科)	13
(医学科計)	26



全大学の合格者数は山形東高のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでご覧ください。

体 育 ・ 文 化 活 動 総 況

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、過去3年間に渡り、部活動に課されてきた制限が撤廃され、各種大会への出場はもちろん、遠征や対外試合等もコロナ禍以前と同様に行うことができるようになりました。また、昨年の夏の記録的な猛暑による熱中症にも警戒しながら、活動時間に配慮し、練習内容を工夫、精選することで各部が強化に努めてまいりました。そのような状況の中、多くの部が、目標とする東北大会や全国大会、全国規模のコンクール、その予選を兼ねた県レベルの大会・コンクールにおいて、日頃の取り組みの成果を遺憾なく発揮し、素晴らしい成績を残しております。中でも全国大会レベルの活躍として、運動部においては、フェンシング部が昨年度に続きインターハイ出場を果たすとともに、剣道部からは2名(男子個人・女子個人)のインターハイ選手を輩出しております。

文化部においては、文芸部の昨年に引き続き俳句甲子園での全国第3位を筆頭に、放送部、囲碁将棋部、マンドリン部、探究部理数班科学部門、音楽部が全国大会で堂々と活動の成果を発揮してくれました。また全国大会には届かなかったものの、県大会で上位入賞を果たし、個人、団体で東北大会に出場した部が多数あったことは、今年度の特筆すべき結果だと言えます。

今後も引き続き感染症予防や熱中症予防に気を配りながら、活動内容をさらに充実させて効率的に取り組んでいきたいと思っております。先輩たちがこれまで築き上げてきた山形東高の部活動における輝かしい歴史と伝統を、これからも継承すべく精進してまいりたいと思っておりますので、今後とも同窓会の皆様のご支援をよろしくお願いたします。

令和5年度 松田杯等四賞

《松田杯》フェンシング部

東北高校フェンシング選手権 男子学校対抗 出場
全国高校総合体育大会 男子学校対抗 出場

《松田杯》剣道部

全日本都道府県対抗剣道優勝大会
男子先鋒の部・女子先鋒の部 出場
三条杯争奪高等学校剣道大会 女子団体 第3位
東北高校剣道選手権 男子団体 第3位
全国高校総合体育大会
男子個人・女子個人戦 出場
東北選抜大会
男子団体・女子団体 出場

《鈴木杯》フェンシング部 (小山 遙花)

東北選手権女子個人対抗 サーブル 第2位
フルーレ トーナメント1回戦退
全国高校総体(インターハイ)女子個人対抗
サーブル ベスト32
フルーレ 出場

《矢野杯》文芸部

第25回「俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)」
全国大会 団体第3位
第36回全国高等学校文芸コンクール
文芸部誌部門 奨励賞
第24回全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会秋田大会(団体)
文芸部誌部門 出場

《駒草杯》囲碁将棋部 (奥山 健信)

第66回東北六県将棋大会山形県代表 団体第5位
第75回山形県将棋選手権大会 出場
第47回全国高校総合文化祭鹿児島大会将棋部門
男子団体第5位

同窓会特別賞

《中村賞》

矢吹 水蓮

《木村賞》

小山 遙花

《探究賞》

木島 沙椰

《山形東高等学校同窓会賞》

二瓶 耀太

《山形中学校・東高等学校東京同窓会賞》

伊藤はまれ

《山形東高仙台同窓会賞》

工藤 彰悟



松田杯フェンシング部



松田杯剣道部



矢野杯

体育部

令和5年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

【剣道】

○東北大会 男子団体 第3位
男子個人 第5位
須藤 慶秋
○全国高校総体 男子個人 1回戦敗退
須藤 慶秋
女子個人 1回戦敗退
大森 あみ
○三条杯争奪高等学校剣道大会 女子団体 第3位
須藤 慶秋
○全日本都道府県対抗剣道優勝大会 男子先鋒の部 伊藤はまれ
女子先鋒の部

【山岳】

○東北大会 団体男子 第2位
団体女子 第4位

【弓道】

○東北大会 男子個人 決勝進出 鬼海 仁
東北総合体育大会少年男子 少年男子総合第3位 鬼海 仁
少年男子近第3位 鬼海 仁

【フェンシング】

○東北大会 個人対抗女子サーブル 第2位 小山 遙花
男子団体 1回戦敗退
男子個人サーブル 予選プール敗退 加藤 義晶
女子個人フルーレ 予選プール敗退 小山 遙花
女子個人サーブル ベスト32 小山 遙花

文化部

【文芸】

○俳句甲子園(全国高等学校俳句選手権大会)予選 優勝《全国大会出場獲得》
○第47回全国高等学校総合文化祭(かごしま総文)文芸部門 短歌部門出場 木村 幸人
俳句部門出場 渡辺 悠月
団体3位
個人 優秀賞 木村 幸人
個人 入選 須藤 臣人
一句 入選 木村 幸人
○第26回神奈川大学全国高校生俳句大賞 詩部門 優良賞 原田 奈歩
○第38回全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門 奨励賞 「楽書」

【書道】

○東邦書道会第65回全国書道展覧会 山形県知事賞 2年 千田 彩乃
山形県芸術文化協会賞 2年 結城 来未
山形市芸術文化協会賞 2年 加藤 小夏
山形新聞社賞 2年 本間 星風

【マンドリン】

○全国高総文祭鹿児島大会 器楽管弦楽部門 出場

【囲碁将棋】

○第47回全国高校総合文化祭(かごしま総文)将棋部門
男子団体《3勝1敗予選通過》 第5位入賞 奥山健信・富田明寿・無着大希
女子団体《1勝3敗予選敗退》 前田知南・朝倉音穂・宗田紗葉

○第24回東北高等学校新人将棋大会(山形市)

男子個人 第7位 無着 大希 第14位 富田 明寿
女子個人 第11位 前田 知南

【放送】

○第70回NHK杯全国高校放送コンテスト 出場
【ラジオドキュメント部門】「修学旅行＝青春って本当？」
【創作ラジオドラマ部門】「金魚になりたい彼女と僕の夏の話」
【テレビドキュメント部門】「体育祭復活!!」
【創作テレビドラマ部門】「あいつとA1つ」

○第27回東北高等学校放送コンテスト若手大会

【テレビキャンペーン部門】入選「シン・愛のsin」

【吹奏楽】

○全日本吹奏楽コンクール東北大会 銅賞

【探究(科学)】

○第47回全国高等学校総合文化祭自然科学部門
・ポスター(パネル)発表の部 出場 木島 沙椰・上野 理生
・研究発表の部(化学部門：口頭発表) 出場 高橋真日路

○第13回科学の甲子園全国大会

出場

【探究(国際)】

○神戸外語大学第6回高校生東南アジア小論文コンテスト 優秀賞 2年 鈴木 沙都
○JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023
高校生生の部独立行政法人国際協力機構東北センター所長賞 2年 横山理那子

*紙面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ(http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp)の「山東通信」に掲載しておりますのでご覧ください。

◇第28回山東文化部OB会総会

令和5年7月21日(金)、山形グランドホテルに於いて「第28回山東文化部OB会総会」が、4年ぶりに開催されました。予定されていた役員改選も出来ずに、今年度ようやく総会が開かれ、第4代会長に菊地健太郎氏が就任いたしました。以下新体制です。

会長 菊地健太郎 新聞部 27回 東紋会
副会長 堀 重章 演劇部 24回 東翼会
青柳 紀子 物理部 45回 東玲会
幹事長 安部 雄祐 新聞部 39回 魁成会
副幹事長 荒井 徹 音楽部 25回 九重会
監事 伊藤 吉明 郷研部 19回 鵬雲会

吉田眞一郎会長永い間ご苦勞様でした。菊地新会長のもと新体制での活躍を期待しております。記念講演では、29回卒・共一会、東京弁護士会副会長の松田純一氏から演題「ふるさと山形への思い」でご講演頂きました。



懇親会では4年ぶりの再会となり、大いに盛り上がりました。(前幹事長 武田 信博 記)

◇第67回体育部OB会総会

令和6年2月2日(金)、バスケットボール部とバドミントン部が当番幹事となり、体育部OB会の総会・懇親会が山形グランドホテルにおいて開催されました。今回はコロナ禍を経て4年ぶりの通常開催となり、功労賞受賞者、学校関係者、各部の代表者など、約270名の方々の出席をいただき、盛大に開催することが出来ました。



総会は、森谷寛会長(卓球部・山東17回卒)の挨拶の後、会長が座長となり議事が進められ、全議案が異議なく承認されました。

総会終了後、懇親会が開催され、現役応援団・吹奏楽部による元気溢れる応援披露、出席者一同の厳かな校歌斉唱の後、OB会から須貝校長先生へ強化費の贈呈が行われ、校長先生からは現役生の活動等についてご報告をいただきました。また、体育部OB会功労賞受賞者・7名の方々への表彰が行われ、受賞者代表の鈴木義秀先輩(バスケット部・山東19回卒)に、森谷会長より表彰状と記念品が手渡されました。その後、バドミントン部OB会会長の渡部二雄先輩(山東8回卒)の発声で乾杯し、出席の皆さんは大いに懇親を深め、バド部OBの永井 悟先輩(山東30回卒)の万歳三唱でお開きとなりました。(バスケットボール部OB 泉 洋之 記)

創立140周年記念事業

正門復元建設及び周辺環境整備事業

～ ほまれの歴史を語り継ぐ不朽の姿を 次世代へ ～

寄附金総額 **31,127,700円** ありがとうございました

◇秋には、新しい正門 竣工・披露へ◇

【創立140周年記念事業募金への御礼】

募金活動は令和5年9月30日をもちまして終了しました。同窓生の皆様をはじめ、母校の教職員・保護者の皆様、さらには記念事業にご賛同くださいました多くの皆様から、多大なご寄附をお寄せいただきました。

寄附金総額は 31,127,700円となりました。

寄附状況は別紙「維持会費納入状況報告」に掲載していますので、そちらをご覧ください。

このたびの募金活動は「コロナ禍による自粛生活と経済停滞の長期化」という未曾有の状況の下で実施をいたしました。このような状況のもと、母校のシンボル・正門建設へ多くのご賛同を得まして、期間内に必要経費まで達成することができました。寄附をお寄せいただいた皆様方にお礼申し上げます。

また、母校では創立140周年記念式典・記念講演会を10月29日(火)にやまぎん県民ホールにおいて開催いたします。

同窓生で記念講演会に出席をご希望の方は下記要領で申込みをお願いします。

【事業の進捗状況】

令和5年

- 3月30日 結城豊太郎揮毫・国旗掲揚台搬出
- 4月8日 正門石材(高島石)の粗加工始まる
- 5月12日 正門石材と国旗掲揚台の採寸

6月30日 臨時役員会

募金活動推進・募金終了時期決定

9月1日 第2回常任委員会

令和4年度会計

令和5年経過報告・計画

9月11日 設計・測量・工事監督契約

正門建設工事契約

9月30日 募金活動終了

10月14日 同窓会総会 経過と計画報告

12月8日 周辺整備工事設計に向けた測量

令和6年

2月9日 第3回常任委員会

令和5年経過と令和6年計画

3月1日 現正門での最後の卒業式

3月29日 周辺整備工事発注

【今後の主な予定】

5月上旬から 現正門撤去作業

周辺整備工事開始

9月下旬から10月上旬 新正門竣工、除幕式

10月29日 創立140周年記念式典

記念講演会



結城豊太郎揮毫・国旗掲揚台搬出



正門用石材(高島石)の粗加工



正門石材採寸



周辺整備工事のための測量

山形東高校創立140周年記念講演



日時：令和6年10月29日(火)
時間：午後3時00分～午後4時30分
会場：やまぎん県民ホール
山形市双葉町1-2-38

講師：毛利 衛(もうり まもる)氏
宇宙飛行士、科学者、日本科学未来館名誉館長

※1985年日本人初の宇宙飛行士に選ばれ、1992年と2000年の2度、スペースシャトルエンデバー号に搭乗して宇宙空間実験を遂行された方です。

講演会に出席をご希望の方は、右のQRコードを読み取って、フォームでお申し込みください。

電話でも受け付けますので、教頭までご連絡ください。(023-631-3501)



現正門での最後の卒業式

東の風

剣道で学んだこと 令和5年度剣道部部长 奥山 郁海

私達は、新型コロナウイルスの影響で中学最後の大会が中止になった世代です。努力が報われない無念さとやり切れなさを抱えたまま、コロナ禍2年目になってもまだその影響が続く中で私達の高校剣道はスタートしました。入学当初は、慣れない高校生活とブランクを埋めるのに必死で、毎日ヘトヘトでした。それでも先輩や仲間がいたからなんとか頑張れました。山東剣道部は長年、県ベスト8止まりで『県ベスト4・東北大会出場』を目標にしていました。しかし、1年の県新人にて、男子個人3位、女子団体3位で東北選抜初出場、続く2年の県総体でも女子団体・女子個人3位で東北大会初出場を決めた時から、皆の意識が変わりました。「もっと上へ」、「俺たちも」の気持ちが出てきて、自然と目標が「県優勝してインターハイへ」になっていきました。部長になって最初は、上手いかわず、結果も出ず、チームとしても意識や盛り上がり足りず試行錯誤が続きました。そんな時に大事にしていたのがミーティングです。どうしたら良いチームになれるか。みんなで意見を出し合っ、気持ちを一つにまとめるようにしていきました。技術面だけでなく、どんなことでも話せる仲間と一緒に、一生懸命かつ楽しんで剣道ができるチームに成長してこれたことは本当に嬉しかったです。成長は結果にも繋がり、県新人、都道府県対抗、県総体と男女個人タイトル完全制覇で全国大会出場、山形県剣道大会男子団体優勝、県新人女子団体準優勝、三条杯争奪剣道大会(選抜予選ベスト4が出場できる全国大会)女子団体3位、57年ぶりに出場した東北大会で男子団体3位、少年男子・女子県選抜として東北総体(ミニ国体)出場と大健闘できたのではないかと思います。私自身は、目標だったインターハイ出場が叶わず、まだ苦い記憶は消えません。それでも、中3の時に感じた無念さは消え、自信を持って「努力は無駄じゃない」と思えるようになりました。3年間の充実した活動を通して、家族の応援、共に頑張れる仲間の存在、先生・コーチからの手厚いサポート、そして、山東剣友会の先輩方が作り上げてきた歴史、たくさんの人の思いが重なって山東剣道部が成り立っていたのだと実感しました。支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。私達は剣道で得た学びを活かし、次の道へ進みたいと思います。引き続き山東剣道部の応援をよろしく願いいたします。



東北大会にて

剣道部栄光の歴史

昭和9(1934)年初の全国制覇

剣道部の歴史は古く、明治26年(1893)、現在地に新築なった校舎の玄関脇で5組の試合が披露され、落成式に花を添えたという。武道が正課となり学校あげでの強化と部員のたゆまぬ努力で、大正13(1924)年には県下中等学校武道大会優勝を果たし、「文武両道」を掲げたスポーツ振興の気運は、昭和初期の山形中学運動部黄金時代を築くに至る。

昭和9年、創立50周年記念事業として元寄宿舎を改装した柔道場と剣道場が完成。「黄昏ひしひしと迫りて闇に包まれし道場に、又或る時は人々現幽の境をさまよふ朝まだきより、血に沁みし緋帯を只艱難の歯を喰いしぱりつつ、羽陽健児の意気を中外に示すべく(共同会誌第66号)」精進を重ね、全国中等学校剣道大会優勝を成し遂げた。朝8時の試合開始から7戦目、鎌倉師範を6対2で下した時は、すでに夜9時になろうとしていたという。



全国制覇(昭和9年)

2年次類型別研修

成節会以来3年ぶりのシンガポール研修は、12月19日～24日(4泊6日)の日程で実施され、生徒36名(国際探究科28名、理数探究科3名、普通科文系1名、普通科理系4名)が参加しました。行程の概略は次の通りです。

- 初日：シンガポール市街研修、シンガポール国立大学キャンパスツアー(大学生案内)
- 2日目：探究発表大会、夜のマリナーベイ散策、光のショー鑑賞
- 3日目：南洋理工大学キャンパスツアー(大学生・院生案内)、日系企業研修、プラナカン博物館見学
- 4日目：班別自主研修、ニューウォータービクターセンター見学

機内泊明けの初日の夜も、22時過ぎまで探究発表準備に熱心に取り組みました。当日は、須貝校長の言葉を借りると、「各々が成果発表会よりさらにブラッシュアップされた発表をしてくれた」発表会となり、審査員の方々からも突っ込んだ質問や温かい賞賛を受けました。両大学でのキャンパスツアーでは、整った研究環境や最先端の研究に触れ、生徒たちは積極的に質問をし、熱心に案内してくれた大学生とのお別れに涙する場面もありました。あっという間の6日間でしたが、「アジアの首都」的な地位を獲得しつつある熱いシンガポールとその人々に直接触れ、生徒たちにとってこれからの自分の人生、そして国際社会を考える上で大きな示唆を与えてくれる貴重な経験となったことと思います。 引率教諭：朝倉 睦美



南洋理工大学図書館にて



東京大学駒場キャンパスにて議論中

普通科文系は素晴らしい出会いに恵まれた。

初日、東大人文分野教養学講座を受講。講師は宇野健司先生。大和総研リサーチ本部副部長にして東大講師(無償!)。内容は「問題解決の思考法」。インプットした情報(今回は「あるコンビニの経営状態」)について、議論と発表で、分析や意見等をどんどんアウトプットしていく全員参加、全員挙手、全員発表の楽しくアグレッシブなものだった。また「学んだことについて半年後の学習定着率は『講義』5%、『読書』10%。ところが『他人に教える』と定着率は90%。何度も読むより一度自分でまとめ、アウトプットしたほう効率がいい。」なるほど!わずか2時間弱の講義で、学習方法の改善も、笑顔の重要性も、さらに人生まで考えさせられた貴重な体験であった。

引率教諭：大江 梯(魁成会)

各同窓会だより

(順不同)

◇東京同窓会

山中・山東 東京同窓会は、1950年(昭和25年)創立以来、74年に及び、多くの先輩方の努力を引き継ぎながら、母校山東の隆盛と当会会員の交流・親睦を図ることを旨とし活動を継続して参りました。昨年5月の新型コロナウイルス5類移行を経て、当会の活動としては、5月に当会会報誌81号3千部を発行・配送。7月にホテル椿山荘での総会及び170名の参加者を迎えての懇親会の開催。8月には東京大学を志す在校生1、2年生計61名の上京を迎えてのオープンキャンパスツアー支援企画(現役東大生との懇談会、OB企業訪問の手配：①帝人みらいスタジオ、②JX金属新素材セミナー、③東京弁護士会館の訪問)の実施。9月のホテルニューオータニにて開催された山形県人会連合会総会・懇親会への参加(17名)と4年ぶりの葛飾区水元公園における芋煮会の開催(40名参加)。10月にはやまがた育英祭・祭祭(音楽祭・芋煮会)協賛・支援による学生との交流会。12月には、母校探究型学習の類型別研修の東京エリアにおける支援を実施しました。詳しくは、当会会報誌82号(本年5月発行)や<http://uzen33.net>「山形東高東京同窓会」をご覧ください。
(会長 鈴木 達 記)



◇山辺支部

令和元年12月に山辺支部の総会及び懇親会を開催後、感染症の拡大により令和2年から4年まで開催を中止せざるを得ない状況でした。その感染症が完全に収束したとはいえ5類になったことで12月の第1土曜の2日に町内の「寿司政」において、高橋一夫同窓会会長及び須貝英彦校長を来賓に迎えて会員14名の参加のもとで開催しました。



この4年のうちには会員である山辺支部元幹事長の武田三十郎氏の永年勤続功労表彰など喜ばしいこともありました。元会長である佐藤孝男氏をはじめとする物故者がおり、開会に先立ち黙祷を行いました。決算報告の後に役員の大改選がありましたが、結果として伊東支部長(会長)をはじめ役員全員が再任という形になりました。総会出席者の減少、会員の高年齢化、新規会員確保といった課題があるものの、縮めに校歌を歌い元気で1年後の再会を確認してお開きとなりました。

(幹事長 宗田 一彦 記)

◇東根支部

東根支部の令和5年度総会は、令和5年11月8日東根温泉の青松館で開催されました。新型コロナの影響で令和元年以来4年ぶりの開催でした。同窓会本部から高橋一夫会長、母校から矢野純嗣教頭先生をお迎えし、支部会員は、顧問の土田正剛東根市長はじめ28名の参加を得て開催されました。

総会では、4年分の決算及び令和5年度予算案が承認され、役員改選では、武田信一会長が勇退し、新会長に山東24回卒業の元木正史氏が選任されました。他役員にも一部交代があり、新たな体制のスタートを切ることになりました。

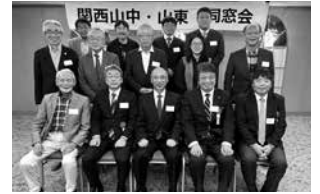
総会に引き続いて懇親会では、来賓あいさつとして高橋会長からは、140周年記念事業について、矢野教頭からは、学校の近況などについてご報告をいただきました。続いて顧問の土田東根市長からご挨拶をいただき、校歌斉唱のあと懇親会に入り、学生時代の話題などで懇親を深めました。最後に応援歌「おゝ勝利」で同窓の絆を改めて確認いたしました。次回も多くの方の参加をお願いいたします。



(前幹事長 浅野目 勇 記)

◇関西山中山東同窓会

令和5年10月28日(土)ようやくコロナ禍が沈静化したため、4年ぶりに郷土山形からご来賓をお招きして総会・懇親会を開催しました。同窓生11名とご来賓の方々を交えて総勢14名で、天満川の川沿いにある「大阪キャッスルホテル」にて執り行いました。懇親会では、高橋一夫同窓会本部会長より10月に開催された同窓会まつりの様子や140周年記念事業の寄附が目標額に達したお話などを伺いました。須貝英彦校長先生からは、後輩たちの文武に亘る活躍や「山東探究塾」の活動内容をご紹介いただきました。山形県大阪事務所の鈴木所長によるご挨拶や初参加の方の自己紹介に続き、他の皆さんの学生時代の話や近況に耳を傾け、山形の地酒やワインを堪能しながら、久しぶりに全員で楽しい時間を共有することが出来ました。今回事情があり出席出来なかった方々も含め、次回の再会を誓いながら盛会のうちにお開きとなりました。



(幹事長 佐藤 吉広 記)

◇山形市役所東高会

山形市役所東高会は会員総勢151名が一丸となり、市勢発展のため、日々奮闘しております。

さて、当会では会員相互の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしておりますが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度より活動を自粛しておりました。

新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、昨年9月20日に4年ぶりに開催した総会では、須貝校長先生、高橋同窓会長、今野同窓会事務局長から御臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりました。

また、今年1月に新年会も開催し、今年度をもって退職される会員の方を囲み、思い出話に花を咲かせました。これらを通じて、会員同士の絆をさらに深めたところであります。

(庶務幹事 原田 貴正 記)

◇山形県庁東高会

山形県庁東高会は、会員数186名で運営され、会員相互の親睦を図るとともに、母校への支援活動を行っております。

毎年、2回の定期総会を開催しておりましたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせておりました。令和5年度においては、コロナウイルスによる影響も緩和された折、山形市内のホテルにおいて、7月10日に実に4年ぶりの総会を開催いたしました。総会では、校歌斉唱にはじまり、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、また、高橋同窓会長、須貝校長先生をはじめとした学校関係者の方々にもご出席を賜り、母校の近況をお聞かせいただきました。引き続き懇親に入り、酒肴を囲んで懇談し、旧友をあたためたところで。最後に「おゝ勝利」を謳い上げ、万歳三唱を行い、散会いたしました。

(事務局 安孫子 悠紀 記)

◇尾花沢支部



支部総会及び懇親会を4年ぶりに11月11日(土)市内「寿司割烹とくら」にて開催しました。ご来賓に高橋一夫同窓会会長、須貝英彦校長先生にご出席いただきました。

総勢21名参加の総会に先立ち、山形一高一回卒「六一会」の鈴木正一郎さんから、当時の貴重な体験談を聞くことができました。大先輩である鈴木さんの戦時中の学校生活や2泊3日の「蔵王スキー行軍」の話聞き、改めて山東の歴史と伝統を感じることができました。鈴木欣一支部長からは日本酒「十四代黒縄」、同窓生の高橋央さんからは、高橋さんの育てたお米で作った「六歌仙 手間暇」の差し入れがあり、みんなでいただきながら、楽しい時間となりました。

(副事務局長 三坂 真治 記)

◇酒田山東会

令和5年度の酒田山東会総会は、母校より矢野純司教頭先生、同窓会より高橋一夫同窓会長にご出席いただき、令和5年11月10日にホテルリッチ&ガーデン酒田にて開催されました。今年も鶴岡在住の卒業生に参加していただきましたが、病欠者や勤務先でのコロナ拡大などで欠席者が相次ぎ、計8名の寂しい総会となりました。

物故会員への黙祷の後、協議が行われ、体調不良の池田会長の勇退が承認されました。次期会長は現時点で未定となっております。記念撮影の後、校歌を斉唱し、乾杯となりました。

矢野教頭先生から母校の近況をお話しいただき、主な進学先や、運動部・文化部の活躍のほかに、ボランティア活動など様々な分野での取り組みの紹介があり、後輩の活躍を興味深く聞かせていただきました。また高橋同窓会長からは創立140周年記念事業の事を中心にお話しいただきました。その後は各自の近況報告が行われ、最後に「おゝ勝利」を歌って、エールであつという間に終了となりました。

校歌と「おゝ勝利」を歌えるようになったのは非常に喜ばしいのですが、参加者があまりにも少ないのが残念でした。来年度は多くの方々の参加を期待しています。(幹事長 岡田 恒弘 記)



◇仙台同窓会

令和5年11月28日「ホテル白萩」にて、2019年以来4年ぶりの開催となった仙台同窓会は、来賓に同窓会本部の高橋会長と母校の須貝校長先生をお迎えし、あいにくの雨模様ではありましたが、開催を待ち望んでいた皆さまの熱気にあふれる会となりました。

総会では菅野会長(山東19回)を議長に、会務報告、会計報告、役員改選と滞りなく議事が進み、引き続き開催された懇親会では、お酒を酌み交わしながら高校時代の思い出話で盛り上がりました。最後は校歌を斉唱し、飛び入りでのエール指揮も飛び出すなど、盛会のうちにお開きとなりました。(事務局 安達 陽平 記)



◇栃木県支部

2023年12月17日、宇都宮市ホテルニューイタヤに於いて、コロナのために4年ぶりとなる総会が開催されました。塩野会長(一高2回)、加藤様(東高9回)、鏡副会長(東高10回)、門間様(東高10回) 佐々木会計監査(東高15回)、武田事務局(東高17回)、棚橋様(東高22回)が出席しました。

総会の議事のあと懇親忘年会に移り、4年間の空白を埋める近況報告や高校時代の思い出を語り合いました。4歳年齢が上がりましたが依然お元気な方ばかりでした。最後に校歌「羽前の三山」、応援歌「おゝ勝利」を歌い、記念撮影後来年の再会を約して散会しました。(事務局長 武田 康夫 記)



◇河北山東会



令和5年度の河北支部総会は、町内の「紀の代寿司本店」にて1月20日に開催されました。新型コロナウイルスの流行により令和2年度以降、総会を中止しており、久しぶりの開催となりました。ご来賓に同窓会本部の高橋会長と母校の須貝校長先生をお迎えし、祝辞では140周年事業の状況や部活動の活躍状況、山東探究塾の状況などをお話しいただきました。

その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おゝ勝利」を合唱し、散会いたしました。(事務局長 茨木 英匡 記)

◇東海同窓会

今年度の同窓会総会は、令和5年11月18日にサイプレスガーデンホテルにて開催され、母校からは須貝英彦校長先生、高橋一夫同窓会会長にもご参加いただき、総勢20名での総会・懇親会となりました。

須貝校長より「山東探究塾」の活動報告を伺い、すごい後輩たちだなあと改めて誇りに思うと同時に緩んだ自分に活を入れてもらった気がしました。

懇親会では恒例の近況報告を皆様に発表してもらい大いに盛り上がり、最後に結城氏(平7卒)のリードによる「おゝ勝利」斉唱にて盛会のうちにお開きとなりました。

次回は初参加の方やご無沙汰の方も是非参加していただき、賑やかな会になることを願っています。

(事務局長 佐藤 義晃 記)



◇大石田支部

3年ぶりとなる大石田支部総会を令和6年2月24日に町内「手打ち大石田そば きよ」にて開催しました。

ご来賓に須貝校長先生、尾花沢支部から鈴木支部長はじめ3名の方々をお迎えし、会を盛り上げていただきました。

総会では、新支部長に高桑氏の就任が決定し、また昨年、大石田町長に当選された庄司氏に花束を贈呈し、今後の町政のビジョンについてお話を伺いました。

懇親会では、近況を報告し合いながら地元ならでわの料理で酒を酌み交わし、締めは店主渾身の手打ちそばに舌鼓を打ち、最後に「おゝ勝利」の合唱とエールでお開きとなりました。(事務局長 大類 康裕 記)



100回記念祭「80才の学芸会」

「東京東士会そば喰う会」の100回記念祭を令和5年1月20日に行った。

平成8年1月からスタートして、コロナ最盛期の2年間の休会を除き25年間、年4回開催してこの度の100回になったのだ。よく続いたものだと私たち自身が半ばあきれな

がら驚いている。昨年は傘寿の祝いをしたので、連チャンの祝い事になった。

当日は、33名の出席で、出席者全員が中川郁子さん手作りの「コサージュ」(花飾り)を胸につけ、書道家の西口洋三君が書いてくれた祝いの「アート書」を舞台上に掲示し、タイトルの横断幕は私の事務所のパソコンで作成し、装飾用のモールは浅草橋の専門店で購入して店内を飾りつけた。

進行は、物故会員を偲んで黙祷した後、校歌応援歌を北沢元朗くんのトランペット石田照夫君の指揮により合唱、来賓挨拶、参加者全員の喜び2分コメント(療養中の会員の電話参加などもあり)、1.2.3月生まれの誕生祝い(ハッピーバースデーを合唱しお赤飯を進呈、当日誕生日の2名にはさらに特別プレゼント)、じゃんけんによる母校ゆかりのこけし取得ゲームなど盛り沢山を楽しんだ。3時間余の長時間だったが、変化に富んでいて、全員参加でたっぷり楽しんだ。まさに80歳の手造り学芸会だった。中締めでも150回(令和17年92歳)を目指して元気で生きようと盛り上がった。

本稿を書かせていただきながら、感じたことがある。それは、母校を卒業して60年余、社会のあら波の中で80才まで大過なく健康に過ごさせていただいたことに対する深い感謝の念である。両親への感謝はもとより、家族、学友、友人、知人、とりわけ母校及び恩師の方々に対して、深甚なる感謝の意を表させていただきたい。

岡田 康男(S36年卒、東京東士会)



東京東士会そば喰う会(令和5年1月)

創立139周年記念式典記念講演

『「情と理」・「情の理」の心理学』
～ヒトにおけるパラドキシカルな感情の働き～

東京大学大学院教育学研究科教授
同附属発達保育実践政策学センター長 **遠藤 利彦 氏**



講師プロフィール

1962年 村山市生まれ
1981年 山形東高卒業/山東31回・五六会
東京大学教育学部卒業
東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学 博士(心理学)
東京大学教育学部助手、聖心女子大学文学部講師、九州大学大学院人間環境学研究院助教授、京都大学大学院教育学研究科准教授、東京大学大学院教育学研究科准教授等を経て、2013年より現職
主な著書
『「情の理」論：情動の合理性をめぐる心理学的考究』
『情動発達の理論と支援』
『入門ーアタッチメント理論：臨床・実践への架け橋』等

創立139周年記念に、心よりお祝い申し上げます。山形の地で、139年にも亘って高等学校の教育に年を重ねて来られたということに、最大限の敬意をもつと同時に、私自身こちらの卒業生の一人として、大変そのことを誇らしく思っております。

■心理学の多様性と専門分野

私の専門は心理学であり、高校の科目にはありませんが、「公認心理師」という国家資格があります。医療や教育、福祉、産業、司法などの現場における心の専門家として、多方面に多様な仕事をすることが、今求められています。心理学は、カウンセリングや心の問題の解決に関わる学問ということは広く知られていますが、実は文科系から理科系まで幅広い領域を網羅しており、五感の働きや脳の機能も研究対象です。私は子どもの成長や親子関係を研究する「発達心理学」、感情の心理的側面を探索する「感情心理学」、人の心の成り立ちを進化の原理に基づいて考える「進化心理学」を専門にしています。これらの研究を通じて、NHKのEテレ『すくすく子育て』などに出演し、解説者として情報発信しています。

私は、スヌーピーが登場する漫画『ピーナッツ』のキャラクター、ライナスが毛布を持ち歩く姿を観察し、子どもの個性や心の力に興味を持ちました。欧米では愛着物を持つことが一般的ですが、日本では3～4割と少数派であるため、こういう物を持っているとお家で何か寂しい思いをしているのではないかと心配された時代もありました。しかし、持つ・持たないということが発達に大きな影響を与えるわけではありません。ただそこには当然何か理由があるに違いない。だったら、そういう個性はどんな仕組みで生じてくるのか。どんな育てられ方をしたら、どんな性格、個性の子供に成長するか。それを、いろいろデータを集め分析しながら少しでも明らかにできればということで、現在は東京大学発達教育実践政策学センターのセンター長を務めており、子育てや保育、幼児教育に関する研究を行っています。コロナの影響やデジタルメディアの影響、非認知能力の重要性なども研究しています。

■感情の重要性と進化的視点

AIの進展に伴って人間の知性を超える転換点を指す「シンギュラリティ」は、一説には2045年に到来すると予想されています。ただし、感情はAIにとって未知の領域、AIが切り崩せない最後の領域とされています。ところが、私たち人間にとっても感情は厄介な側面があります。時には、怒りによって頭がかっかとなる瞬間や、自己嫌悪に陥ることもあります。しかし、長期的な視点で考えると、怒りや不安といった感情は、適切な状況で適切な行動を促す役割を果たしています。例えば、恐怖は危険から逃れるための緊急反応を生み出し、不安は慎重な判断を助けています。感情は私たちの生存と社会性に不可欠であり、その重要性を再評価する時期に来ていると言えるでしょう。

人間は社会的な生き物であり、集団の中で強さを発揮します。感情は群れを形成し、維持するための接着剤となっています。感情は人の行動や対人関係に影響を与え、社会的な価値観やルールにも影響を及ぼします。感情と理性のバランスを保ちながら、人々は共同体で幸せに生きていくのです。ダーウィンの進化論に基づくネオダーウィニアン的な感情観も、感情の多様性と重要性を強調しています。感情は私たちの社会性や生存に役立つ要素であり、厄介者ではなく、むしろ重要な働きをしています。

■感情と人間の生存

では感情がなかった場合、人々の生活はどのようなのでしょうか。SFテレビドラマ『スタートレック』シリーズでは、感情を持たないバルカン星人が描かれています。彼は冷静で感情をコントロールできる存在ですが、もし地球上に本当に感情を持たない人々が増えたら、人類は存続できるのでしょうか。

心理学の研究には、興味深い事例があります。1848年、フィニアス・ゲージは鉄道工事中にダイナマイトの事故に遭い、頭部を貫通する大けがをしました。驚くべきことに、知的機能は保持されたままでしたが、人格や感情面に大きな変化が生じました。穏やかだった性格が非礼で衝動的に変わり、ものを決める能力が失われました。その後、脳

科学者アントニオ・ダマシオは同様の患者を対象に研究を行い、感情の障害や計画能力の低下が共通していることを発見しました。知的機能は無傷でも感情の働きが利かなく、最終的な判断ができなくなることが示されています。中でも、IQが非常に高いエリオット氏の症例があります。彼はビジネスでも成功し、知的生活や家族生活も順調でした。しかし、脳の腫瘍の手術で傷を負い、日常生活が成り立たなくなりました。IQは変わらないのに、過去の失敗に対する感情を持たず、目の前の利益に目を奪われて同じ失敗を繰り返し、家族との関係も崩れてしまいました。

感情は私たちの過去の成功や失敗によって形成されます。成功体験は感情として記憶され、同様の状況で再度判断に利用されます。逆に失敗も体に独特の感覚として残り、似た状況で警戒を促します。感情は過去の経験を活かす役割を果たしています。人間の進化において、感情は社会性に特に重要です。しかし、進化の逆説として、人は子どもっぽさを保ちながら進化してきたと言われています。人間は自身を家畜化し、ペット化してきた結果、幼児化しています。この子どもっぽさによって、他者を信頼し仲良くじゃれ合える心を持ち続けることで、群れを作り社会的に成功してきたのです。人は単体の強さよりも集団の強さを選択し、150人前後の群れで生活してきたと考えられています。

■感情と社会的関係

社会的感情は人と人の関係を支える重要な要素です。ロバート・フランクの『オデッセウスの鎖』によれば、感情は時に長期的な意味でより重要な対人関係上の利益に心を括り付ける鎖の役割を果たします。例えば、怒りや義憤は損を背負いながらも、コミットメントを形成し、関係を修復する力を持っています。ある状況で損を覚悟してでも正義を求めることは、社会的感情の一面ですね。感情が人と人の関係を支える重要な要素であることを示す例を紹介합니다。

①問題解決と正義の追求：A家とB家の問題について考えます。B家の犬がA家の庭を荒らし、盆栽を壊したことでA家は10万円の弁償を求めています。費用がかかりますが、怒りや義憤から裁判を起こす選択をすることもあります。このような感情は、関係を修復するために必要な要素と言えるでしょう。

②感謝と相対的な量：友達がお弁当を分けてくれる場合、感謝の気持ちを持ちながらも、相対的な量によって感情が変化します。例えば、友達が2個持っているうちの1個をくれた場合と、10個持っている友達が1個をくれた場合は、前者の方が感謝の気持ちはより強い。私たちは利害バランスに敏感に反応し、感情を調整しています。

③最後通牒ゲーム：2人に100ドルを提供し、提案者が分配額を決め、回答者がイエスかノーで答えます。経済的合理性から言えば、提案者は99ドルを自分に、1ドルを相手に提案することも合理的ですが、実際は半々の提案が一般的です。感情や相手の反応を考慮して、人々はバランスを取ろうとします。

④公共財ゲーム：4人のプレイヤーが100万円ずつ持ち、銀行に入金するかどうかを選ぶゲームです。銀行は入金した額を全員に分配します。協力しない人が得をするという不条理な点がありますが、その人を罰する仕組みを導入するとゲームが維持されます。利他的懲罰として、不正を働く人を排除したいという感情が人々にあります。

結論になりますが、感情は「急がば回れ」の原理に従って行動することが多い。損を背負うことが、回り回って個人の利益につながる。アダム・スミスの「国富論」では、感情が社会を調整し、幸せにつながることを示されている。経済学者アマルティア・センは、自己利益のみを追求する人は「合理的な愚か者」と述べている。むしろホモ・エモティカス(感情人)として感情に従って行動することが、社会の健全な運営に寄与している。社会性を前提にして成り立っている私たち人間は、人との関係を維持し、集団に馴染んで適応することが幸せにつながると理解しています。

皆さん、ご自身の関心に従って、幅広い心理学のテーマの中で好奇心を掻き立てるものを何か、ぜひ本を手にとって読んでいただければと思います。

第74回卒業会名

けい しょう かい
継 翔 会

世界では平穏な生活が突然脅かされるような急激な社会の変容を目の当たりにし、まさに時代の継ぎ目を迎えようとしていることを実感する。

一方で、ようやく制約を解かれた私達は互いに切磋琢磨し、新たな形を自分たちの手で創造してきた。迷いながらも過去を識り、紆余曲折を経て数多の壁を超えてゆくことができたのは、支え合える仲間がいたからに他ならない。コロナからの復活の年に、軌跡という縦のつながりと仲間という横の結び付きで歴史を紡いだ私達ならば、さらなる高みを目指していけるだろう。

受け継がれてきた伝統と世界の平和を希求する願いとに思いを至し、自らの力で切り拓く未来へ力強く翔けて行くことを誓って、「継翔会」と命名する。



「継翔会」同窓会クラス評議員

令和6年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆令和5年度ホームカミングデーに参加して
山東61回 勢翔会 高橋 裕也

えいせつかい
栄継会(平成24年卒業・山東62回)のみなさんへ

30歳という峠に立った今 母校に帰って
恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか
みなさんの参加をお待ちしています

- ◆ 日 時：令和6年8月31日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場：山東会館食堂
- ◆ 内 容：若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込：8月16日(金)まで同窓会事務局へ

勢翔会と恩師の皆様にご参加いただき、大変盛況な会となりました。仲間や恩師との久しぶりの再会を喜び、当時の思い出や近況を語り合い、有意義なひと時を過ごすことができました。中には海外や国内でも遠方からの参加もあり、勢翔会としてのつながりの強さを改めて実感しました。これをきっかけにまた同窓会を開催できたらと考えています。ご多用の中ご参加いただいた恩師の皆様、会を開催していただいた事務局の皆様、ありがとうございました。

知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

本間 拓也(平成18年卒業・瑞雪会)

グローバルとローカル

山東時代にはサッカー部で部長をしていた。小中ずっとクラブチームにいたので、県大会で勝てないことに衝撃を受けたが、なんとか県大会ベスト4までいけるように青春した。

高2の冬に、学校を2週間休んでロンドンにホームステイした。その後の人生にとっての大きな転機になった。今は学校のサポートでシンガポール研修などもあると聞いている。羨ましいし、グローバル人材が多く出てくることを期待している。

高校卒業後は、東京大学に進学した。ロンドンで見た風景が忘れられずに、2年で中退してロンドンの大学に入学し直した。8年ロンドンに住んだが、町並みも人も、(日本人間ではとても不人気な)天気も食べ物も、全部がフィットしていた。老後はロンドンに住みたい。

ロンドン学生生活中にEdtech(教育テクノロジー)の会社を起業をした。アフリカ、インド、中国などを回る中で、教育の格差に衝撃を受け、テクノロジーの力で教育格差を解決しようと思ったのがきっかけだ。日本では当たり前に行われる教育も当たり前でない場所がある。

紆余曲折あって、リクルートにM&Aされ、スタディサプリの開発・アジア展開を担当した。今では200万人を超える学習者に毎年使ってもらえる大きなサービスになった。2019年に、リクルートを卒業しManabieというEdtech企業をシンガポールで再び起業した。アクセスを届けるだけでなく、教育の質にもこだわっていきたく思っている。特にインドに力を入れていく。インドには1学年2600万人いる。小学生だけで日本の人口を軽々と超える。教育で人生が変わるのでみんな必死に勉強する。

やまがたMUSE奨学金も始めた。山形から多くのグローバルに羽ばたく人材が出てきてほしいと思っている。引き続き、グローバル・ローカルで、教育事業を頑張っていきたい。



仲間と本間さん(左から2人目)



お梅やみ

同窓会報75号掲載以降～令和6年3月31日までに判明した方々です 謹んでご冥福をお祈りいたします

平成17年

3月17日 鈴木 實 様 (山中55回)

平成20年

1月29日 阿部 孫夫 様 (山中47回)

平成30年

11月28日 武内 文雄 様 (山東16回)

平成31年

1月26日 会田(庄司)光子 様(山東4回西)

令和2年

1月16日 鈴木 弘也 様 (山中61回)

2月2日 結城 好之 様 (山東20回)

令和3年

6月24日 武田(三浦)トミ子 様(山東3回西)

8月25日 田尻 正仁 様 (山東17回)

10月11日 伊藤 藤男 様 (山東5回)

令和4年

1月5日 高野 和男 様 (山東16回)

1月10日 青山 正英 様 (山東12回)

1月27日 伊藤 勲 様 (山東5回)

3月31日 永井 国夫 様 (一高2回)

4月12日 佐藤昌次郎 様 (山東11回)

5月15日 岩田 忠平 様 (山東60回)

6月2日 栗野 洋司 様 (山東10回)

7月21日 小関(相沢)弘子 様 (山東9回)

9月17日 阿部(井上)小紀子 様 (山東2回)

9月19日 軽部 孝 様 (山東9回)

9月25日 奥山 英雄 様 (山東1回)

9月30日 田口 虎雄 様 (山中57回)

10月17日 遠藤 昭 様 (山東2回)

11月15日 近藤 博 様 (山東15回)

11月17日 梅津 清恭 様 (山東15回)

12月2日 三浦 孝司 様 (山東6回)

12月3日 菅野 敦子 様 (山東41回)

12月25日 佐藤 進 様 (山東9回)
12月28日 大場 恒彦 様 (山東16回)

令和5年

1月6日 笥 治 様 (山東35回)
1月8日 小野 英樹 様 (山東5回)
2月2日 齋藤 一英 様 (山中62回)
2月17日 高橋 芳徳 様 (山東6回)
2月16日 長岡 顕 様 (山東11回)
2月25日 細谷 克夫 様 (山東1回)
2月26日 佐藤 智 様 (一高2回)
3月7日 富士田邦彦 様 (山東8回)
3月26日 横田 隆 様 (併中1回)
3月27日 伊藤 庄一 様 (山東10回)
4月6日 鈴木 将機 様 (山東13回)
4月15日 高橋 秀夫 様 (山東9回・元酒田支部長)
4月26日 高橋 正士 様 (山東7回)
5月2日 三瓶 光義 様 (山東7回)
5月5日 森谷 英夫 様 (山東7回)
5月13日 渡辺 和則 様 (山東23回)
5月15日 木村 正義 様 (山東13回)
5月25日 今野 成行 様 (一高2回・評議員)
5月29日 井上 龍男 様 (山東8回)
6月2日 栗野 洋司 様 (山東10回)
6月7日 高木 邦夫 様 (山東5回)
6月7日 佐藤 晃一 様 (山東10回)
6月9日 鎌倉 匡宏 様 (山中62回)
6月12日 折原 弘一 様 (山東20回)
6月23日 丹羽 厚悦 様 (山中61回)
6月24日 小松雄次郎 様 (旧 職員)
6月27日 岡田 道雄 様 (山中61回)
7月3日 加藤 英治 様 (山中55回)
7月3日 吉池 章夫 様 (山東14回)
7月4日 倉岡 憲雄 様 (山東24回)
7月12日 布宮 久善 様 (山東28回)
7月15日 名子喜久雄 様 (山東18回)
7月21日 無着 成恭 様 (山中58回)
7月23日 森谷 茂 様 (山東21回)
7月28日 伊豆田征雄 様 (山東11回)
7月28日 新宮 尚彦 様 (山東24回)
8月1日 居駒 永嗣 様 (山中54回)
8月1日 洪谷 恒雄 様 (一高2回・旧職員)
8月8日 森谷 勝宏 様 (山東11回)

8月8日 門間 正幸 様 (山東16回)
8月9日 高橋 正剛 様 (山東10回)
8月11日 齊藤 惣爾 様 (山東5回)
8月16日 片桐 秀夫 様 (山東5回)
8月18日 登坂 光雄 様 (山東2回)
8月22日 志鎌(渡辺)チエ子 様(山東4回西)
8月23日 武田(佐藤)重子 様(山東1回西)
8月26日 奈良崎 仁 様 (山東1回)
8月30日 植松(洪江)笑子 様(山東3回西)
9月4日 三橋 一彦 様 (山東8回)
9月10日 田宮(安孫子)トミ 様(山東1回西)
9月19日 藤田 憲一 様 (山東4回)
9月23日 佐藤(永野)晴子 様(山東3回西)
9月27日 逸見 啓 様 (一高2回)
9月28日 安孫子 功 様 (山東7回)
10月3日 石田 祐一 様 (山東7回・旧職員)
10月3日 金山宏一郎 様 (山東7回)
11月6日 稲毛 良吉 様 (山東7回)
11月7日 藤間 徳好 様 (一高1回)
11月13日 佐藤 徳好 様 (山東4回)
11月20日 國井 正博 様 (山東18回)
12月2日 山口 登 様 (山東10回)
12月7日 高橋 忠 様 (山東8回)
12月24日 松川清三郎 様 (山中60回)
12月24日 清水 サヨ 様 (山東5回)
12月28日 山口 憲一 様 (山東15回)

令和6年

1月7日 菅井 亨 様 (一高1回)
1月11日 水戸部知巳 様 (山中61回)
1月11日 矢作 直弘 様 (山東7回)
1月16日 鈴木 幹雄(幹夫) 様(山東1回)
1月30日 後藤 禮三 様 (山東2回)
2月1日 原田 弘之 様 (山東4回)
2月11日 高橋 克夫 様 (山東12回)
2月18日 村形 悦男 様 (山東10回)
2月22日 戸田(山口)真紗子 様(山東3回西)
2月23日 奥山 憲夫 様 (山東16回)
2月26日 北畠 教爾 様 (旧 職員)
2月28日 高橋(大内)清也 様 (山中57回)
3月9日 石垣 肇 様 (一高併中1回)
3月18日 奥山 孝雄 様 (山東9回)
3月29日 渡邊 栄次 様 (山東27回)

山東奨学会

令和5年

5月12日 第25回理事会
令和4年度事業報告
決算の承認
評議員会の開催
6月8日 第10回評議員会
令和4年度事業報告
決算の承認
評議員の選任

令和6年

2月9日 第26回理事会
令和5年度事業経過報告
令和5年度補正予算の承認
令和6年度事業計画
予算の承認
3月19日 奨学生審査会
3月28日 奨学金贈呈式 3名に贈呈

慶 祝

令和3年

4月29日 瑞宝単光章 高橋 政樹 様 (山東26回)

令和4年

4月29日 旭日双光章 加藤 浩三 様 (山東15回)

令和5年

4月29日 瑞宝小綬章 青山 永策 様 (山東16回)
三浦 秋夫 様 (山東20回)
旭日双光章 佐藤 忠宏 様 (山東9回)
10月31日 瑞宝小綬章 石田 祐一 様 (山東7回)
11月1日 瑞宝双光章 永井善四郎 様 (山東4回)
11月3日 旭日小綬章 吉田眞一郎 様 (山東17回)
瑞宝小綬章 細野 武司 様 (山東13回)
井上 功 様 (山東21回)
土海 安雄 様 (山東23回)
瑞宝双光章 小林 邦憲 様 (山東18回)
後藤 敏和 様 (山東20回)
11月11日 山形県産業賞 榊原 憲二 様 (山東27回)
佐藤 隆彦 様 (山東33回)

11月27日

教育者文部科学大臣表彰
須貝 英彦 様 (山東32回・前校長)
田中 克 様 (山東32回)

12月11日

三浦記念賞 伊勢 和正 様 (山東50回)

令和6年

1月4日 山新3P賞 桂木 宣均様 (山東29回)

篤志寄付

令和5年

4月21日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所東高会
10月27日 創立140周年記念事業へ寄附 1万円
誉田 慶信 様 (山東19回)

令和6年

2月9日 教育後援会へ寄付 110万円
山形東高同窓会
2月15日 山東奨学会へ寄付 100万円
奥田教育財団
2月16日 創立140周年記念事業へ寄附 各1万円
川瀬 誠 様 坂田 謙 様
中村由紀子 様 須藤 孝治 様
永瀬 智 様 本間 次男 様
松尾 拓 様 桜井 和則 様
(山東35回)
1月26日 教育奨励費 20万円
(文化部・運動部奨励費10万円
図書購入費5万円、奨学会
基金5万円)
山形県庁東高会
2月22日 冬季陸上走路一式
山形東高校陸上競技部OB会
3月4日 創立140周年記念事業へ寄附 1万円
鈴木 正浩 様 (旧職員)

職員動向

母校に係る令和5年度末の人事異動をご報告します

須貝 英彦(校長・4年)県立博物館へ
森 美千子(教頭・12年)新庄南高校・校長へ
相澤 史恵(国語・6年)ご退職
河野 崇(社会・2年)ご退職・本校講師へ
長岡奈保子(養護教諭・5年)ご退職

今野 誉康(社会・18年)東桜学館高校へ
笹木 覚(理科・7年)県教育センターへ
佐竹 香織(英語・5年)山形市立商業高校へ
水戸部英和(保健体育・2年)寒河江工業高校へ
西村あつみ(事務部長・2年)村山総合支庁へ

転入者(敬称略)

渡邊 晃(校長)県立博物館より
黒沼 直洋(教頭)教育局高校教育課より
渡部 竣哉(国語)上山明新館高校より
廣谷 葵(社会)山形北高校より
佐藤 剛郎(理科)長井工業高校より
齋藤 貴玖人(保健体育)庄内総合高校より
齋藤 智嘉(英語)山形西高校より
鈴木 久恵(養護教諭)教育局スポーツ保健課より
安達 中子(事務部次長)山形養護学校より

令和6年度 同窓会役員

役員表: 会長 高橋 一夫, 副会長 高矢 秀弥, 幹事長 高橋 宣均, 副幹事長 高橋 勝幸, 幹事 永井 聡子, 監事 伊勢 和正, 事務局長 今野 義之

評議員表: 山中55回 昭南会 設 栄 隆, 山中58回(4) 銀河会 西 久, 山中59・60回 太平会 佐 藤 久良助, 山東4回 東四会 阿 部 諒悦, 山東5回 古稀会 山 口 隆司, 山東6回 六翠会 小 松 公博, 山東7回 一行会 小 真 厚, 山東8回 東八会 深 瀬 智, 山東9回 東鳩会 伊 藤 光一郎, 山東10回 東濤会 逸 見 誠司, 山東11回 東土会 斎 藤 伸一, 山東12回 東睦会 井 秋 葉 正彦, 山東13回 三山会 龍雲会 大 場 敏男, 山東14回 笑龍会 宇 治 川 幸雄, 山東15回 竹馬会 蜂 屋 恵弘, 山東16回 六七会 川 越 進, 山東17回 東哉会 伊 藤 俊義, 山東18回 鵬雲会 滝 口 歳 毅, 山東19回 翠巒会 後 藤 誠裕, 山東20回 四六会 主 一 会 佐 藤 幸一, 山東21回 志也会 東 翼 会 高 橋 穰, 山東22回 九重会 斎 藤 篤, 山東23回 互一会 野 口 祐三郎, 山東24回 東紋会 小 関 一三, 山東25回 天馬会 共 一 会 江 袋 一宏, 山東26回 東翔会 浅 黄 敬之, 山東27回 五六会 児 玉 克也, 山東28回 榎音会 鐘 形 功 泰, 山東29回 継世会 村 水 弘也, 山東30回 双翼会 小 林 直 樹, 山東31回 百東会 荒 木 秀一, 山東32回 慧琥会 赤 井 芳賀寿, 山東33回 鴻紀会 青 木 秀之

評議員表 (続): 山東34回 東龍会 小 嶋 寛 之, 山東35回 魁成会 小 鈴 木 清 晃, 山東36回 東駿会 高 吉 橋 祐 史, 山東37回 翔洋会 吉 原 田 和 武, 山東38回 志成会 今 野 和 広, 山東39回 東鵬会 今 野 誉 康, 山東40回 東阜会 進 藤 義 悦, 山東41回 百珠会 黒 高 梨 芳 樹, 山東42回 東玲会 高 阿 部 洋 平, 山東43回 東凌会 天 成 会 峯 田 和 宜, 山東44回 東珀会 東 珀 会 丹 野 一 史, 山東45回 雙紀会 佐 竹 一 文, 山東46回 東晝会 武 田 信, 山東47回 東愛会 武 田 信, 山東48回 東魂会 鈴 木 貴 博, 山東49回 東粹会 佐々木 健 晴, 山東50回 東節会 山 川 晃 広, 山東51回 瑞雪会 武 田 幸 幸, 山東52回 和成会 小 林 広 軌, 山東53回 重友会 伊 藤 大 地, 山東54回 結昇会 武 田 伸 海, 山東55回 六黎会 阿 高 橋 裕 也, 山東56回 勢翔会 伊 藤 佑 一 郎, 山東57回 栄継会 松 永 和 希, 山東58回 六三志会 桂 木 悠 平, 山東59回 天晶会 桂 木 悠 平, 山東60回 勲東会 舟 大 越 壯 平, 山東61回 東緑会 原 田 大 沼 類, 山東62回 東標会 菊 池 柊 斗, 山東63回 讚燦会 池 上 航 大, 山東64回 成節会 安 達 良 光, 山東65回 令明会 令 明 会 金 山 征 泰, 山東66回 健徳会 山 田 由 之 介, 山東67回 伍凜会 山 田 純 平, 山東68回 蒼朋会 高 橋 壯 翔, 山東69回 継翔会 橋 本 律 貴

顧問表: 浜田 敏 第10代会長 山東17回, 日野 正 第33代校長, 山川 史 第35代校長, 佐藤 敏彦 第36代校長, 伊藤 和夫 第37代校長, 勝見 英一朗 第38代校長, 相馬 周一郎 第39代校長, 渡部 泰山 第40代校長, 柳谷 豊彦 第41代校長, 菅間 裕晃 第43代校長, 佐藤 俊彦 第44代校長, 須貝 英彦 第45代校長

相談役表: 森谷 寛 体育部OB会長 山東17回, 菊地 健太郎 文化部OB会長 山東27回

地域・職域同窓会

地域・職域同窓会表: 同窓会名, 会長・支部長, 事務所, 局, 連絡先. 例: 山形東高同窓会 鈴木 達 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 山形県東京事務所内 枝松 広朗 ☎03-5212-9026

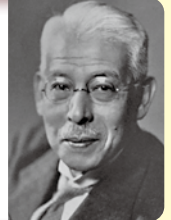
三浦新七博士の生涯と業績 (3)

～学問は学問のための学問であってはならぬ 何のための学問か考えよ～

昭和2年3月、三浦は東京商科大学教授を辞任し帰郷した。養父5代権四郎が高血圧で倒れ、時を同じくして三浦家の家業ともいえる両羽銀行(現山形銀行)が、第一次世界大戦後の反動恐慌、関東大震災、昭和に入って間もなく起きた金融恐慌、続く経済恐慌で苦境に立たされる。「難局を解決するには識見、人望ともに第一級の人材を経営陣に加えて、その任に当たってもらう以外に途はない」との山形経済界の要請に、三浦は逡巡した。次々と論文を発表し学者として油が乗り切っていた。その充実ぶりは後に「一橋の西洋史学ということが言われるとすれば、それは三浦教授によってつくられたものであり、大正、昭和初期は、まさに『三浦新七先生時代』と呼ぶにふさわしい時期であった」と紹介されるほどであった。

帰郷した三浦は常勤監査役に就任する。東京高等商業学校銀行科在学時代の若き日、日清戦争で膨張過熱した経済が急激に収縮、反動恐慌に襲われていた時にあって「監査役はよくよく見もせず判を押すような人物は直ちに廃し」と論じた主張を50歳となった今、実践することとなった。いったん肚を決めると、学問に打ち込んだ情熱を銀行再建に注いだ。書類を入れた折靴を抱え、四日町の三浦邸から早朝銀行に出勤し、書齋にこもって深夜まで調べものをした。その結果、督促や追担保の徴収といった手を講じて債権保全に努めたとしても、なお多額の回収困難な不良債権があることが分かった。もはや根本的な手を行うほかはなかった。取締役会において不良債権を整理償却するため資本金の4分の1を減資するという思い切った整理案を提示した。山形新聞は「近來の大英断、さすがは三浦博士である」と賛意を伝える一方で、「粒粒辛苦永年の結晶である積立金を蕩尽してしまうことに株主の一部に三浦案に反対し役員の責任追及の動きがある」と報じた。予想通り臨時総会が始まるや否や株主数名から強硬な反対意見と役員の責任追及の声が上がった。三浦は発言を求め詳細に説明した。「そもそも不良貸はいかなる理由で起こったかと申しますと、その禍根は第一次世界大戦後の大正9年の恐慌に端を発し、12年の大震災とその後の不景気であります。今日大株主である重役諸氏への減資による損害はすこぶる大きく、ある製糸会社への不良貸に対して重役諸氏は19万円ほどの責任支出を致した次第であります。近時政府は政策上、低利資金を無担保で貸出しその他信用組合の勃興、同業者間の競争等によって銀行の収益は漸次通減して参りました。私は、これ以上重役を責めたいとは思いません。むしろ当行の発展になお一層業務に当た

三浦新七(1877-1947) 文明史家・経済人。東京商科大学(現一橋大学)学長。山形中学、東京高等商業学校卒業。ドイツに留学して比較文明史を研究し母校教授に。昭和金融恐慌に際して帰郷し両羽銀行(現山形銀行)頭取。貴族院議員。日銀参与。山東高同窓会第2代会長。遺稿集に『東西文明史論考』



られ善処していただきたいのです」。理路整然と誠意をもった説明に、険しかった総会の空気は一変、4分の1減資案は承認された。昭和4年1月、難局を乗り切るため経営陣の一大刷新が断行され、三浦が9代目頭取に就任した。新取締役として長谷川吉三郎が常勤取締役役に就任し、ここに三浦、長谷川両家が銀行経営の任に就くこととなる。

大学を去り銀行再建に精魂傾ける一方、三浦の学問への情熱はいささかも衰えることはなく、創立して間もない山形高等学校(現山形大学)の講師として文明史の講義を行った。自宅書齋には教授、学生たちが顔を見せた。その中には、後に『岩波英和辞典』を執筆する英文学者田中菊雄や、名著『大和古寺風物誌』を著す若き日の文芸評論家亀井勝一郎の姿があった。小雪がちらつく昭和3年2月「山形県郷土研究会」が設立され、会長に推された三浦は「本会の研究範囲は単に郷土の歴史のみに限られてはいない。その場所において目睹し得る事実を観察し記述することで研究材料を豊富にし、本県文化の特性を総合的に補足することによって、地方文化の向上発展を図るのが目的である」と研究に携わる者としての気構えを説き、私財を投じ資料収集、発掘調査、会誌の発行、さらには研究費に事欠く会員に資金援助することを忘れなかった。

昭和10年10月、三浦に母校東京商科大学学長就任の声が上がる。学園は教授、助教授、学生、卒業生を巻き込み、紛糾の極みにあった。

山形商工会議所 花谷 賢一(四六会)



両羽銀行員と蔵王登山(後列左から4人目)

編集後記

新型コロナウイルスが5類に移行し以前の暮らしが戻りつつあることが、同窓会まつりの様子や各地域同窓会だよりなど、紙面からも伺えます。思うように人と会えない日々は、相手を想い、人に会う楽しさ・大切さを強く実感する時間でもありました。同窓生の皆様の繋がりがコロナ禍以前よりも強固に、豊かになることを心から祈念しております。

太田 恵(東阜会) 奥山 玲香(結昇会)